

目 次

河川水を利用することで、受精能力は保持できるか —サケ卵の劣化試験から— 北口裕一（資源管理部）	3
水温からスルメイカの漁場・水揚港を予測する —日本海漁況予測システムを用いたスルメイカの漁場予測— 木所英昭（資源管理部）	5
海洋環境変動がカタクチイワシ資源量変動に及ぼす影響 —重要餌生物（カイアシ類）の分布密度と水温の関係— 森本晴之・井口直樹（資源環境部） 後藤常夫（資源管理部）	7
ヒラメは囲い網で馴致すると種苗性が向上する!? 藤本 宏・山田達哉・山本岳男（資源生産部）	9

表紙の解説

山形県庄内地方の月光川水系滝淵川におけるサケ親魚の受精の様子

日本海区水産研究所 戸叶 恒

この写真は山形県庄内地方を流れる月光川水系滝淵川へ遡上してきた雄サケ親魚の精液を、雌親魚から採取した成熟卵にかけているところです。この作業は例年10月から翌年の1月まで続けられ、合計約1,000万粒の受精卵を採取して、翌年の2～3月には約900万尾の稚魚を放流します。